

新しいABC分類

胃がんリスク層別化検査(ABC分類) を 受診される方へ

胃がんリスク層別化検査(ABC分類)は、
「ピロリ菌感染の有無」(=ピロリ抗体検査) と
「胃粘膜の萎縮の有無」(=ペプシノゲン検査) の
2つの血液検査を組み合わせ、「胃がん発生リスク」
を層別化する検査です。
胃がんを見つける検査ではなく、胃がんのリスクを
見る検査です。
これまでは、「胃がんリスク検診」、「ABC検診」、
「ABC分類」などと呼ばれていました。

このABC分類の新しい運用において、ピロリ抗体検査の
判定基準を**3U/mL**に変更する提案が出されました。
この運用により、A群にピロリ菌の**過去感染者**や
一部**現感染者**の方が紛れ込んでしまうことを大幅
に減らせることがわかりました。

これからのABC分類における胃がんリスク
リスク低い **リスク有り**
未感染者 < 過去感染者、現感染者

胃がんリスク層別化検査(ABC分類)

| | | ピロリ抗体検査 | |
|----------|----|------------|----|
| | | 陰性 | 陽性 |
| ペプシノゲン検査 | 陰性 | A群 | B群 |
| | 陽性 | C群 もしくは | |
| | | D群 | C群 |

ABC 分類判定対象外

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、ABC分類の判定の対象にはなりません。

E群(除菌群)となります。

※除菌治療を受けた方は、胃がんリスク層別化検査(ABC分類)を受診する際に必ず申し出てください。

過去感染者：過去にピロリ菌感染があったが、今は感染していない方

現感染者：現在ピロリ菌感染のある方

–これまでの胃がんリスク層別化検査(ABC分類)でA群と判定された方へ–

これまでにABC分類を受診して**A群**と判定された方は、
検査値をご確認いただき、ピロリ抗体検査の結果が、**3U/mL以上10U/mL未満**に該当
する場合は、一度、専門医にご相談ください。

ピロリ抗体検査の結果が、**3U/mL以上10U/mL未満**に該当する場合、ピロリ菌の過去感染または現感染
の可能性があります。現感染者はもとより、過去感染者の方もリスクがゼロではありませんので、内視
鏡検査による経過観察が必要です。

検査結果が残っていない方やピロリ抗体検査の数値の記録がない方は、再度、胃がんリスク層別化検査
(ABC分類)を受診し、ピロリ抗体価の検査値を確認することをお勧めします。

ただし、この数値(3U/mL)で判定する運用は、「Eプレート'栄研'H.ピロリ抗体Ⅱ」という検査キットで測定された場合です。
過去の胃がんリスク層別化検査(ABC分類)のほとんどは「Eプレート'栄研'H.ピロリ抗体Ⅱ」で測定されています。